

# <<<< 警 報 >>>>

岡 病 防 第 21 号

令和元年 9月24日

各 関 係 機 関 長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の発表

病虫害発生予察警報第1号を下記のとおり発表したので送付します。

## 令和元年度病虫害発生予察警報第1号

令和元年 9月24日

岡 山 県

病虫害名 **水稲 トビイロウンカ**

1. 発生が予想される地域

県中南部地帯

2. 発生の蔓延が予想される時期

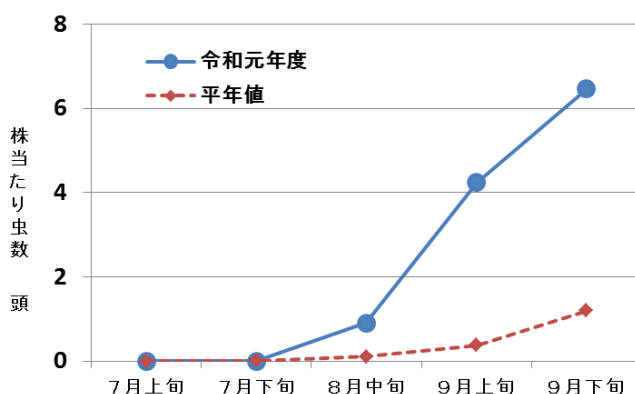
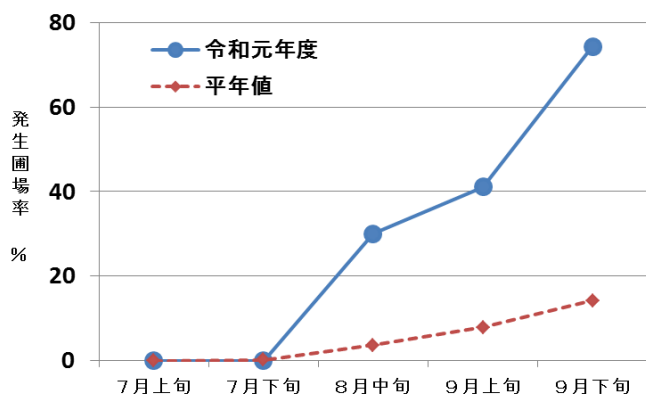
9月下旬以降

3. 予想される発生程度

**多**

4. 警報発表の根拠

(1) 岡山県病虫害防除所が9月19、20日に行った巡回調査によると、県下全域での**発生圃場率は74.4% (平年14.1%)**で平年の約5.3倍、**株当たり虫数は6.5頭 (平年1.2頭)**で平年の約5.4倍といずれも平年を上回っており、さらに9月上旬の巡回時と比べていずれも増加している。



(2) 県内の一部地域では、すでに**トビイロウンカによる坪枯れ\***が確認されている。

※トビイロウンカが株元に多数寄生し、吸汁することによりイネ株が枯死し多くの場合、円形状に枯れ上がる症状のこと (図1、2)

(3) 広島地方気象台が9月19日に発表した季節予報によると、向こう1か月の気温は高く推移す

るとされており、**本虫の増殖に好適な条件が続くと考えられる。**

(4) 岡山県病害虫防除所は、これまでトビイロウンカについて病害虫発生予察注意報を2回発表（第1号：令和元年8月21日、第2号：9月6日）し、防除の徹底を呼びかけているが、現地圃場では依然として**多発生状況が継続**しており、**今後、さらに坪枯れが広範囲で発生する恐れ**がある。

#### 5. 防除対策及び防除上の参考事項

- (1) **収穫の1か月以上前に成幼虫合計が株当たり10頭以上、又は中生・晩生種で短翅型雌成虫が株あたり0.2頭以上**が確認された圃場では、収穫期までに坪枯れが発生する恐れがあるので、**直ちに粉剤または液剤で防除を実施する**。なお、本虫は圃場内で局所的に生息するため、**圃場の中央部まで入りながらなるべく多くの株元をよく観察する**。
- (2) 粉剤、液剤の薬剤散布に当たっては、**薬剤が株元まで十分到達するよう留意する**。また、粒剤の場合は、湛水状態で粉剤、液剤に比べやや遅効的であるため早めに散布する。
- (3) 薬剤の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、人畜、水産動物等への危害防止に努め、安全・適正に使用するとともに、周辺農作物等へ飛散しないよう十分注意する。なお、**収穫期が近い場合の薬剤散布は、特に農薬使用基準の収穫前日数をよく確認**して行う。
- (4) 坪枯れ発生している圃場では、可能な限り収穫を早めて被害の拡大を防ぐ。
- (5) 飼料用米、WC Sについては、「飼料として使用する粳米への農薬の使用について」、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」等に沿って適切な農薬を選択し、適期防除に努める。
- (6) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターホームページ (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>) で確認できる。
- (7) 令和元年度病害虫発生予察注意報第1号（8月21日発表）、2号（9月6日発表）参照。

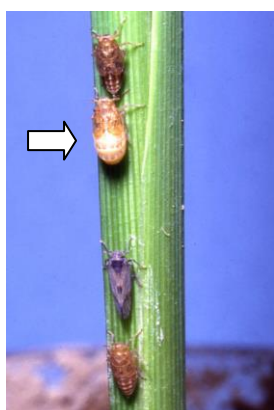


図1 成虫（体長約5 mm 株元に集中して生息  
（矢印は短翅型雌成虫）

図2 圃場の被害（坪枯れ）

表 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤

(令和元年9月20日現在)

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準			IRAC コード 注2)
	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用濃度・使用量	
キラップフロアブル キラップ粉剤DL	収穫14日前まで 収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 3～4kg/10a	2B
トレボンEW <sup>1)</sup> トレボン乳剤 <sup>1)</sup> なげこみトレボン <sup>1)</sup> トレボン粉剤DL <sup>1)</sup> トレボン粒剤 <sup>1)</sup>	収穫14日前まで 収穫14日前まで 収穫21日前まで 収穫7日前まで 収穫21日前まで	3回以内	1,000倍 1,000～2,000倍 水溶性容器10個/10a 3～4kg/10a 2～3kg/10a	3A
MR. ジョーカー EW <sup>1)</sup> MR. ジョーカー粉剤DL <sup>1)</sup>	収穫14日前まで 収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 3～4kg/10a	
ベストガード水溶剤 ベストガード粒剤	収穫14日前まで 収穫14日前まで	4回以内	2,000～4,000倍 3～4kg/10a	
スタークル・アルバリン粉剤DL スタークル・アルバリン顆粒水溶剤 スタークル豆つぶ スタークル・アルバリン粒剤	収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	3kg/10a 3,000倍 250～500g/10a 3kg/10a	4A
ダントツ粉剤DL ダントツ水溶剤 ダントツ粒剤	収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	3～4kg/10a 4,000倍 3kg/10a	
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍	4C

<sup>1)</sup> の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域及び発生するおそれのある地域では使用しない。

<sup>2)</sup> IRAC コードによる農薬有効成分の作用機構の分類

薬剤の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、人畜、水産動物等への危害防止に努め、安全・適正に使用するとともに、周辺農作物等へ飛散しないよう十分注意する。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

